

## 授業の工夫・効果と繋がり

家政教育・田中弘子

### 授業の概要

この授業は、3回生後期に配置されている専修・コースともに選択科目である。授業内容の系統性からみると、1回生後期「人間生活原論」、2回生後期「家庭経営学」（生活経営論）（家庭科の教職必修）から継承される。また、教員免許状や卒業研究をも想定している。家庭経営学同様、家族関係学（個人・家族論）を受講した17名は、その大半が前記科目を受講し、理科所属の学生をも含んでいる。

授業の目的と内容の柱は、主として次の事項に関することを理解し、身につけることである。

- 1 授業立案、基本となる用語、DV チェックリスト、意見交換
- 2 近代以前の社会、家族のしくみ
- 3 前近代社会と近代家族、性役割
- 4 <近代家族後>の多様化と諸課題
- 5 多様なセクシュアリティと暮らし、
- 6 危機への対応
- 7 ジェンダー公正、フェミニズム、男性学
- 8 自助と共同性
- 9 各論（各学生が、それぞれ個人のテーマと調査研究方法を選んで、書式に則った報告を書き、発表、討論を行う。）

### 主として工夫した点

- 1 個人・家族の歴史の流れ、用語の把握
- 2 目標につながる方法論の模索
- 3 効果についての検討

### 学生のFDアンケート調査の結果

- 1 立案、基本となる用語、DV チェックリスト  
「自分の視点からDV等を感じる事ができた」「これから学んでいく全体像がみえた」「ジェンダーについて基本的な考え方が身についたような気がした」「導入をきちんとしたので、後の内容が理解しやすかった」「DINKS,DEWKSなど、選択肢が広がった背景がとても興味深い」「レポートのテーマ、形式等、はっきり伝えてもらえれば有難い」
- 2 母権的社会、家父長制家族

「モソ族のVTRは非常におもしろかった、理解しやすかった」「私には理解できない考えをもつ人々も多く、視野、考えが広がった」「とにかく衝撃的、こんなに世の中には格差があると分かった」「女性が主に仕事をしている世界では、女性はいきいきとして、輝いていた」「娘が家族のために出稼ぎに行くなど負担が多い」

### 3 前近代社会と<近代家族>、性役割

「実家の方に亥の子がある、男の子しか参加できなかったのだからこがれた」「近代家族は性役割をはっきりさせた」「地域社会との交流が必要」「この流れは繋がりを考える上で重要だ」「切り離された小さな集団になってしまった」「女性は家庭を守り、男性は外で働く事が当然と思うのはいけないでしょうか？」「<女は家庭>の考え方が残っているのが悲しい」

### 4 近代家族後の多様化、諸問題

「HIVへの偏見は本当にある、頭で考えることと心で思うことの違いを見た気がした」「弱きものが追いつめられる悲しい現実に深く考えさせられた」「性は強制されるものではないというが、日本社会はまだまだ口ばかりだと感じた」「まだまだ問題は残っている」「みんなの意見をコラージュを通して知れて、これからのこと、自分の理想など考えることができた」

### 5 危機対応

「映像が痛々しく衝撃的で、それが現実である以上、いつ起きるかもしれないこととして考えねばならない」「この授業でなければ、見たり知ったりすることはなかった」

### 6 『あなたの中の暴力性』(市民企画)(中村彰(メンズリブ, 男性学)・田中、トークと討論)

「また違った視点で考えられた、こういう機会があるのはとてもいいことだと思う」

### 分析と今後の課題

- 1 厳選した映像、コラージュ、市民企画参加などの有効性を、組み活用する事を再検討。
- 2 レポートの検証、表現や意見交換の方法を再考する必要がある。

